

学校評価の結果について 1 学期末 (10月実施)

本校職員の自己評価のまとめ

A : よくあてはまる B : ややあてはまる C : あまりあてはまらない D : まったくあてはまらない		Aの%	Bの%	Cの%	Dの%
No	診 断 内 容				
1	今年度の矢中グラウンド・デザイン(A4版)から、校長の意図や趣意が理解できている。	81%	19%	0%	0%
2	学校やクラスの中で、「Happiness」が浸透してきている。	78%	22%	0%	0%
3	生徒たちも本校の「スタッフ」であるという意識化が感じられる。	25%	72%	3%	0%
4	生徒たちは「笑顔」と「あいさつ」と「モチベーション」を持って生活している。	41%	57%	3%	0%
5	自分だけの「Happiness」ではなく、友人やグループ、クラスを考えて言動ができている。	22%	78%	0%	0%
6	クラスや学年、生徒会等のボランティア活動に進んで参加している。	54%	46%	0%	0%
7	服装や頭髪、言動などの生活行動が、よくなってきている。	32%	68%	0%	0%
8	各教科において、基礎・基本を明確にし、教材の精選や展開の工夫を行っている。	26%	74%	0%	0%
9	言語活動を重視した問題解決的な学習を行っている。	15%	76%	9%	0%
10	グループ学習を取り入れるなど、学習形態の工夫・改善を行っている。	35%	56%	9%	0%
11	いじめや校内暴力などの問題行動に対し、組織的に対応している。	68%	32%	0%	0%
12	個々の生徒について、家庭と緊密な連携がとれている。	30%	70%	0%	0%
13	生徒会活動が、主体的に活動できるように支援し、活動が活性化してきている。	69%	31%	0%	0%
14	部活動の推進や活性化に、自分のできる範囲内で努力している。	68%	29%	3%	0%
15	「道徳」の時間を大切に、生徒の道徳的価値観を高める努力をしている。(担任のみ)	47%	53%	0%	0%
16	偏見や差別を許さない学校づくりを推進し、人権尊重の姿勢で教育活動が行われている。	54%	46%	0%	0%
17	一人一人を生かすとの観点から、特別に支援を必要とする生徒に対して、理解し授業や行事を通して特に配慮した関わりをもっている。	43%	57%	0%	0%
18	安全点検が計画的になされ、危険箇所や修繕箇所を把握し迅速に対応されている。	73%	27%	0%	0%
19	矢中の教育推進にあたり、校長のリーダーシップが発揮されている。	100%	0%	0%	0%
20	学校運営に教職員の意見が反映されている。	78%	22%	0%	0%
21	各学年とも職員の連携を行い、よい方向で学年経営が推進されている。	89%	11%	0%	0%
22	職員としての使命感や責務を自覚し、本校教育活動に取り組んでいる。	74%	26%	0%	0%
23	職員は、「行動規準表」に明記した目標、「B」規準の標達成を目指して研修や研究、実践をしている。	55%	45%	0%	0%
24	校務分掌等を通して、本校の学校経営に「スタッフ」として参画している。	68%	32%	0%	0%

●教職員も、下記のことをこれからも継続していきたくところと捉えていますので、更に伸ばしていきたいと思えます。

- ◎あいさつができる生徒が増えてきており、生徒が前向きで明るい。
- ◎あいさつをしてくれる生徒が多く、声をかけやすく、生徒からも接してきてくれる。
- ◎みんなが協力して団結し、大きな力を発揮できるところ。
- ◎生徒の自主的な活動が増え、生徒会活動が活性化している。
- ◎生徒主体、生徒を活動の中心とした行事の運営が行われている。
- ◎生徒たち一人一人を温かい目で見守っている。
- ◎ボランティア活動、緑化活動に積極的になってきている。
- ◎支援学級の生徒に優しい生徒が増えてきている。
- ◎ルールが守れるようになってきている。

●改善したい課題やその具体策は、下記のとおりである。

- △交通マナーの向上→下校指導の巡回を定や期的に行う。交通安全教室をやる。
- △清掃活動の充実→美化委員会と連携する。自問清掃を取り入れる。
- △教室に入れなくて校舎内外をふらふらす生徒への対応→全職員で見っていく。
- △学力の向上→学び合い学習の充実を図る。教科担任と学級担任が連携し、宿題を徹底する。(あきらめずに学習に取り組む生徒を増やす。)
- △トイレ、古い机やいすなどの環境の整備。→市教育委員会へ改修の要望を続けている。

- ◎診断内容の24項目のうち、A(よくあてはまる)とB(ややあてはまる)で100%が19項目あり、年々、教育活動が向上していることがわかる。(AとBで100%は、昨年の1学期は10項目、昨年度末は14項目であった。)
- ◎「校長のリーダーシップが発揮されている」がAで100%であり、「矢中デザインから校長の意図や趣旨が理解できている。」と「各学年とも職員の連携を行い、よい方向で学年経営が推進されている。」がAで80%を越えており、校長のリーダーシップの下で、方針を理解し、学年を中心に教育活動が展開されていることがわかる。
- ◎昨年度末と比べて、Bの評価からAの評価へ上がった項目が増えている。
- ◎学校行事にほとんどの生徒が意欲的に取り組んだり、生徒会を中心に、行事やボランティア活動に参加したりする生徒が増えてきているので、更に、生徒主体の活動になるようにしていきたい。
- ◎職員の和があり、明るく、温かい中で、仕事ができているのを、今後も続けていきたい。
- △「言語活動を重視した問題解決的な学習を行っている。」と「グループ学習を取り入れるなど、学習形態の工夫・改善を行っている。」では、Cが9%であり、例年、Cの割合が高い項目である。しかし、「学習形態の工夫・改善」では、昨年度末は、Cは22%であったので、今年度は、グループ学習などを意識して指導している成果が徐々に出てきている。